

■ 第 38 回 多摩川流域セミナー

「大規模震災！あなたの飲み水・消防用水は？」～多摩川の川づくり総点検！<利水編>～

主催：多摩川流域懇談会

前回の多摩川流域セミナーでは、大規模地震や洪水時の備えについて、治水面をテーマにみなさんと学習しました。

今回のセミナーでは、「利水」をテーマに行います。

大規模な地震のとき、わたしたちの生活用水や消防用水は、どのようになるのでしょうか。大規模災害時の水の利用について、これまでの大震災の事例も参考にしながら、みなさんと一緒に学び、考えましょう。

●日時：平成 24 年 2 月 25 日（土） 13 時 00 分～17 時 15 分

●プログラム：

◇13 時 00 分

－JR 中央線・武蔵野線 西国分寺駅北口集合

◇13 時 15 分～15 時 00 分

－現地見学

（姿見の池・恋ヶ窪用水・玉川上水（清流の復活地点）・小平監視所）

◇15 時 30 分～17 時 00 分

－ディスカッション（立川市役所にて）

◇17 時 15 分

－終了予定時間（※ディスカッション終了後、現地解散となります。）

●問い合わせ先：多摩川流域懇談会事務局 NPO 法人多摩川エコミュージアム

TEL/FAX 044-922-1025

E-mail npo@seseragikan.com

第38回多摩川流域セミナー ～多摩川の川づくり総点検！<利水編>～

大規模震災! あなたの飲み水・消防用水は?

今回の多摩川流域セミナーでは、大規模地震や洪水時の備えについて、治水面をテーマにみなさんと学習しました。

今回のセミナーでは、「利水」をテーマに行います。

大規模な地震のとき、わたしたちの生活用水や消防用水は、どのようになるのでしょうか。大規模災害時の水の利用について、これまでの大震災の事例も参考にしながら、みなさんと一緒に学び、考えましょう。

日 時：平成 24 年 2 月 25 日（土）13 時 00 分
集 合：JR 中央線・武蔵野線 西国分寺駅（北口）
見 学 地：姿見の池・恋ヶ窪用水・玉川上水・小平監視所
参加費用：200 円（保険料など）
持 ち 物：飲み水、高圧（各別）、懐かしい懐紙（お楽しみ）

◆当日のプログラム◆

◆13:00 集合
しん 中央線・武蔵野線 西国分寺駅 北口

◆13:15～15:00 現地見学
姿見の池・恋ヶ窪用水・玉川上水（清流の復活地点）・小平監視所

◆15:30～17:00
ディスカッション
立川市役所にて

◆17:15 終了予定時間
会場終了後、現地解散となります。

多摩川流域懇談会事務局
NPO 法人多摩川エコミュージアム
TEL/Fax: 044-922-1025
E-mail: npo@seseragikan.com

開催日時：2.25（土）
会場：立川市役所（立川市役所 2 階）
入場料：無料（お楽しみ品は別途）
主催：多摩川流域懇談会事務局

■ 第 38 回 多摩川流域セミナー 開催報告

「大規模震災！あなたの飲み水・消防用水は？」～多摩川の川づくり総点検！<利水編>～

主催：多摩川流域懇談会

1. 集合〔西国分寺駅〕

平成 24 年 2 月 25 日（土）午後 1 時、西国分寺駅に集合しました。午前中は雨が降っていましたが、午後から雨はやみ、無事にセミナー開催となりました。



西国分寺駅



集合した参加者の皆さん

2. 開会挨拶

- 西国分寺駅から徒歩 10 分程度歩いて、姿見の池で開会となりました。
- TB ネットの中村さんから、今回は、利水という観点から、源流の森を水源として江戸を繁栄させてきた玉川上水を見ていきたいということ、そして 3 月 11 日の東日本大震災からの教訓として日々の暮らしの絆づくりの大切さを学んでほしいと挨拶がありました。
- 京浜河川事務所の宿利原係長から、本日の現地見学の講師として、国分寺市の廣瀬係長、バス車内の説明人として TB ネットの神谷さん、国分寺市まちづくりセンターの龍神さんが紹介されました。



開会挨拶

3. 現地見学

◇姿見の池

- 姿見の池にて、国分寺市の廣瀬係長から説明がありました。
- 姿見の池は、JR 武蔵野線のトンネル内の湧き水をポンプで汲み上げ、そこから暗渠で姿見の池まで導水しています。
- 「姿見の池」という名称は、鎌倉時代の宿場の女性がこの池を鏡代わりに利用していたことからついたのですが、このことから、800 年ほど前、姿見の池周辺には湧水が湧き出て

いたと考えられます。その後、昭和の時代になって埋め立てられましたが、平成 14 年、姿見の池の復活と野川の水量の増加を目的に湧水の導水整備が行われ、良好な水辺空間が復活しました。

- 国分寺市には、名水 100 選や東京の名湧水 57 選に選ばれている湧水が多く存在しています。
- また、国分寺市まちづくりセンターの龍神さんからは、姿見の池周辺に東山道のバイパスが通っていたということ、姿見の池には最大日量 3000t の地下水が導水されているが、渇水期には少量のみの導水しかしていないという説明がありました。



国分寺市の廣瀬さん



国分寺市まちづくりセンターの龍神さん

◇バス車内にて

- バスで姿見の池から小平監視所への移動中、恋ヶ窪用水、砂川用水、玉川上水等について TB ネットの神谷さん、国分寺市まちづくりセンターの龍神さんから説明がありました。

<1号車・説明：神谷さん>

- 先ほどは、恋ヶ窪用水の水路の一部をみてもらいましたが、用水路として残っている区間、残っていない区間があり、今後は、用水の復活を目指して、残っていない区間にも水を通していくことを考えたいと思っています。
- 玉川上水の分水はたくさんあり、恋ヶ窪用水の他にも、国分寺用水、本田用水等多くの用水路が張り巡らされています。これら用水網は、防災の観点からも日常的に使えるようになるといいと思います。
- 「恋ヶ窪用水の復元に関する提案」が平成 20 年に市民から出されました。これは野川流域の市民団体が中心になって提案したのですが、野川流域の市民団体の成果として「野川現況図」があります。各自治体でばらばらに作っていた用地図をまとめて、現状がどうなっているかを示したものです。この作業を通して、最も用水復活が現実的だと思われたのが恋ヶ窪用水でした。
- 野川の水量が少ないことについても、住民要望があり、それが姿見の池の復元にも結びつきました。姿見の池の復元には、JR、関係自治体等が尽力しています。
- 「玉川上水とその分水の水は、何に使っていたのですか？」という質問に対して、もともとは野川周辺の水田にひくための農業用水で、このあたりは台地の上なので、通過するだ

けでした。しかし、台地の上では用水沿いに新しい町が作られていきました。用水を使った水車もたくさんありました。との説明がありました。

< 2号車・説明：龍神さん >

- 恋ヶ窪用水周辺は、昭和 30 年代まで田んぼが存在しており、高度経済成長とともに田んぼがなくなり、そして平成 14 年に、姿見の池、恋ヶ窪用水が復活しました。
- 玉川上水について、1654 年に羽村から江戸までの約 43km の通水を開始し、1657 年に国分寺村分水が開始しました。1965 年には、淀橋浄水場が廃止されたことで、玉川上水からの導水も停止し、その後、清流の復活という目的で小平監視所から下流の玉川上水には、浄化施設からの下水処理水を流しました。つまり、小平監視所から上流と下流では、水源が異なり、上流は多摩川の水、下流は下水処理水が流れています。
- 野川流域分科会は、小平監視所から上流、つまり多摩川の水を取水している砂川用水から、昔存在していた本来の恋ヶ窪用水に通水し、姿見の池を経由して野川に水を引くことを望んでいるということ、また、その目的は、災害時の通水路の確保、生物生息場所の確保、景観の創出、野川への導水、文化的遺産の保存であるという説明がありました。
- 玉川上水の周辺には数々の用水が存在し、立川市の用水は暗渠で通水しているが、国分寺市は開渠となっており、現在も民家の間を通っているということでした。



車内の様子

◇小平監視所

- 小平監視所にて、東村山浄水管理事務所の岡村境浄水場長から説明がありました。
- 小石川上水、後の神田上水が、全国初の上水道整備事業と言われています。その後、水の供給不足から玉川上水が作られました。羽村から四谷大木戸まで、全長43kmをわずか8ヶ月の期間で開削しました。羽村と四谷大木戸の高低差は92mしかなく、測量が精密にできない時代にあって、自然流下のみで流す技術にはすばらしいものがありました。
- この事業に任命された「庄右衛門・清右衛門兄弟」は、事業の成功を認められ、「玉川」の姓を与えられ、町人から武士の身分となりました。玉川兄弟は、水元役つまり玉川上水の管理人に任命され、玉川上水の維持管理や水の分配などを行い、水の使用料金を徴収していましたが、3代目玉川庄右衛門の時代になった際、職務怠慢により水元役を解任されてしまいました。
- 玉川上水は、尾根上を通っているため、分水が容易であり、1655年開削の野火止用水をはじめ、合計33カ所の分水がありました。
- 玉川上水は長らく東京の水需要を支えてきましたが、水質の悪化、明治19年のコレラの大流行、都市人口の増加による給水量不足などの対策として、玉川上水を導水路として、新宿

に淀橋浄水場が建設されました。しかし、昭和40年に、この淀橋浄水場が廃止されたため、小平監視所から下流は導水路としての役目を終え水が流れなくなりました。小平監視所から上流は、東村山浄水場へ約0.5t/sの水を送る導水路として今も使用しています。

- 東京都の清流復活事業にて、昭和61年から小平監視所より下流に下水の高度処理水を流し、玉川上水を復活させました。また、平成22年からは、玉川上水整備活用計画に基づき、水路や法面の整備、桜の名所である名勝小金井サクラの保全などを行っています。
- 小平監視所は、東村山浄水場に水を送るために昭和38年に設立されました。監視所の主な役割は、水中の落ち葉等のゴミの除去・収集、沈砂作業、分水地点、の3点です、ということでした。



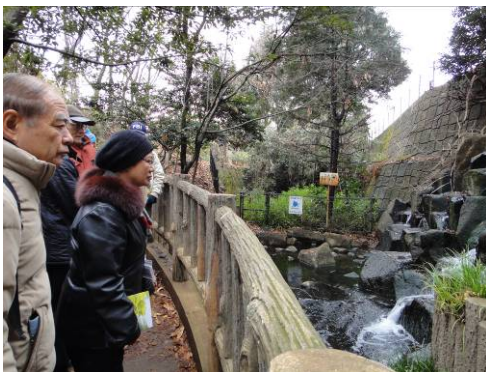
東村山浄水管理事務所の岡村さん



熱心に聞き入る参加者の皆さん

◇清流復活

- 清流の復活について、東京都の和田課長補佐から説明がありました。
- 昭和40年に淀橋浄水場が廃止され、玉川上水には水がなくなりましたが、清流復活事業で、多摩川上流水再生センターで高度処理した日量15000m³の水を玉川上水に放流しています、とのことでした。



玉川上水への放流口



清流の様子

- 現地見学を終え、一行はディスカッション会場となる立川市役所に向かいました。

4. 意見交換会 [立川市役所]

◇話題提供 1：東日本大震災時の利水施設の被災状況（京浜河川事務所）

- 京浜河川事務所の坪谷課長から、東日本大震災の水に関する施設の被害状況について、被災箇所を地図に示した資料や当時の写真を用いて説明がありました。
- 宮城県近辺では、津波による浸水が 10m を超えており、岩手県では 40m 以上の高さまで津波が到達したこと、また、約 230 万戸が断水したことや、農業利水施設の被災箇所が約 21,000 箇所にとぼり、米の生産にも影響があったこと等、水道施設、工業用水施設、農業用水施設の被害状況や復旧状況について説明がありました。

◇話題提供 2：震災対策の取り組みについて（東京都水道局）

- 東京都水道局の尾関課長から、東京都水道局の震災対策の取り組み、震災時の水源確保の取り組み等について説明がありました。

－東日本大震災時の被災状況について

- 3月11日の震災直後、東京都内の水道施設は運転継続が可能であったが、水道管の空気弁の被害や主要な水道管から各家庭に通っている給水管が損失し、合計 450 件の被害がありました。



東京都水道局の尾関さん

- 震災後の計画停電によって、水道施設が停電し給水が止まったことで水道管の錆が発生し、濁水が発生したこと、水道水中の放射能の状況について説明がありました。

－震災対策の取り組みについて

- 阪神淡路大震災では、水道管のつなぎ目が抜けてしまうといった被害が発生したため、その教訓を活かし、平成 7 年から水道管の耐震継手の設置を開始し、現在も実施しています。
- 震災で断水の被害があっても、残った水道管内の水を利用して住民自身が水を取り出すことができる機材を 2km に 1 箇所の割合で設置しています。
- 公助ではなく、自助や共助の対策として、浄水場や給水場の一部区域を住民が立ち入れるようにして、災害時に住民自身で給水を可能にする対策を実施しています。

◇話題提供 3：大規模災害時の消防水の確保（東京消防庁）

- 東京消防庁の小林課長補佐から、大規模災害時の消防水の確保について説明がありました。

－東日本大震災時の取り組みについて

- 3月11日の震災では、現地に 2000 人出動して、山の湧き水を利用して火災対応していました。

－今後の取り組みについて

- 市内の防火水槽の活用や大容量の水を整備、地域の人による初期消火、消火用でなく多目的に水が利用できることが今後の対策として必要です。

- 現在の取り組みとして、河川を容易に堰き止める貯水シート、個人の池や公園、学校のプールなど様々な水源を活用できるようにすること、延焼面積あたりの防火水槽や紹介度の世知、さらにゲリラ豪雨対策で設置した調整池を利用するなど様々な取組を行っています。例えば、東京都 23 区内の住宅密集地では、都市整備事業とも連携しながら防火水槽を設置する方向であり、引き続き、自助、公助での防火対策が必要です。



東京消防庁の小林さん

◇話題提供 4：水流実態解明プロジェクトの紹介

- 京浜河川事務所の坪谷課長から、水流実態解明プロジェクトの紹介がありました。
- 水流実態解明プロジェクトとは、どこにどれだけの水量があるかについて解明するプロジェクトであり、河川整備計画の一環の取り組みです。
- 水流実態解明プロジェクトは、水の流れの保全・水量の確保、多様な生物の水辺空間の保全・再生等 4 つの目的の下、水の流れのシミュレーションや水流解明キャラバン、流域委員会といった取り組みを行っています。



京浜河川事務所の坪谷さん



説明に聞き入る参加者の皆さん

◇YES・NOアンケート

質問 1：水道局の震災への対策は安心であると感じますか？

回答：YES 10 人／ NO 16 人

YES の理由：日ごろから消防用水や断水に対して危機感を感じていないため。

NO の理由：東京都内で局所的にしか消火用水が利用できない可能性があるため。

質問 2：消防庁の震災への対策は安心であると感じますか？

回答：YES 9 人／ NO 13 人

YES の理由：川崎市民であること（東京都民ではない）、元消防庁職員であったため信頼している。

NO の理由：消防庁は計画を進めている最中であるため、NO としたが、今の計画内容は良いと感じる。

◇質問・意見・提案カード

- 参加者のみなさんには、意見交換までに質問・意見・提案カードに記入をお願いしていました。21 名の方にご協力いただきました。皆様からの質問・意見・提案カードへの回答は、この開催報告の最後に掲載しています。

◇ディスカッション

- ここまで、多摩川の分水や玉川上水を利用して震災に備えるという観点でみてきましたが、多摩川本川についてはどのように利用できるのかについて意見を聞きました。
 - －多摩川には消防車が河川水を給水することが可能な場所が、浅川を含め 61 箇所あります。(京浜河川事務所 坪谷課長)
 - －給水可能な箇所が一箇所でもあれば、1～2km 先までポンプ車からポンプ車へ送水することが可能です。(東京消防庁 小林課長補佐)
- この会合自体も共助の一部であるが、市民に何か求めることはありますか？(神谷さん)
 - －応急給水を自助、公助、共助で実施しなくてはならないが、東北ではコミュニティーが強いが東京ではそうではないので、今後、市民自身で応急給水を行うことが出来るように自治防災組織を形成して行ってほしい。(東京都水道局 尾関課長)
 - －防災について、行政から市民への水防活動をシフトしなくてはならない中で、市民自身の詳細な働きかけを今後も考えていく必要がある。(神谷さん)



参加者からの発言の様子

5. 最後に

- 京浜河川事務所の和泉所長から閉会の挨拶がありました。100 年、200 年前の日本では、川から水を汲み、火を自ら起こして生活しており、災害が起きても自ら対処できていました。しかし、近年、私達の生活は便利になり、災害が起きた際に水や火といったライフラインが途絶え、自ら対処できなくなっています。そこで、水道局、消防庁など公共機関が様々な対策を検討してくれています。
- 今後、公助、自助、共助を組み合わせ、災害に対処していかななくてはなりません。公助について、都会ではコミュニティーがないため、災害がおきた際は、自分でできること(自助)、周囲の住民とできること(公助)を常に考えていかななくてはなりません。
- 水流解明プロジェクトと災害の関係について、水流解明プロジェクトを通じて日常から健全な水循環を形成することで、被害を軽減できると考えています。例えば、湧水がなくなるなど水循環が絶たれると消火用水がなくなったり、川崎市や多摩区、江東区などのよう

に地下水のくみ上げによって地盤沈下がおきると、高潮が起きたときに、甚大な被害となります。


- 先日、インドネシアから鶴見川に視察に来られました。経済成長が進んできているインドネシアでは、人口増加に伴って飲料水を確保するため地下水を汲み上げすぎて-2~4m といった地盤沈下が起こり、洪水被害が拡大するといった悪循環となっています。
- 日本もかつてはこういった被害を経験してきましたが、みんなの知恵で課題に対応してきました。今後も、健全な水循環を災害の軽減という観点も含めて、検討していきます。



閉会挨拶

質問・意見・提案カード

No.	質問・意見・提案内容	回答
1	上水、用水への汚水流入がないか常にモニタリングは行われているか？	[東京都水道局] 玉川上水への汚水管接続を許可していないため、汚水が流入することはありませんが、原水の異常を監視するため、定期的な巡回点検や臭気・油臭などの監視を行っています。また、浄水場の入口において水質の検査を行い、水質管理に万全を期しています。
2	汚水流入が確認された場合(例えば下水流されないような洗車汚水など)、いかに改善することができるか？	[東京都水道局] 玉川上水への汚水管接続を許可していないため、汚水が流入することはありませんが、原水の異常を監視するため、定期的な巡回点検や臭気・油臭などの監視を行っています。また、浄水場の入口において水質の検査を行い、水質管理に万全を期しています。
3	下水のトイレ用水として、下水道にも水が流せるような切り替えができるのでしょうか。	一部では、下水道処理水をトイレの洗浄水として利用する取組が行われています。
4	国分寺市では恋ヶ窪用水の復元、(緊急通水路も兼ねて)通水を目指していますが、消防の立場から評価(活用)はできますか？	[東京消防庁] 消防ポンプ車による消火活動をかんがみ消防水利の基準を定めており、水際まで消防ポンプ車が接近できることや、水をくみ上げるための水深のほか、毎分1立方メートルかつ連続40分間の吸水を確保することとしています。なお、自主防災組織等の方々が使用するものとしては、特段基準はありませんので、恋ヶ窪用水の通水に伴って、消火用水としての期待が持てます。
5	姿見の池は湧水由来の池ですが、アオコが発生するなど水質があまり良くないという事を聞きます。都や(国分寺)市は原因を把握しているのでしょうか。また、対策は何かされているのでしょうか。一部にはユキヤナギを植えてアオコの発生をおさえる事もしているようですが。	[国分寺市] はっきりとしたアオコ発生の原因は特定できていませんが、夏場に池の水温が上昇することで発生するようです。当市においても、アオコの抑制物質を出すとされている樹木ユキヤナギを水際に植えるなどの対策を行っています。
6	38回のセミナーですが、これらをまとめたレジメなどはありますか？図書館、資料館にそれらがあれば、読んでみたいと思いますが。	京浜河川事務所のホームページにこれまでの記録が掲載されています。そちらをご覧ください。
7	このセミナーの成果は、どのような形で行政に活かされているのでしょうか？例えばそれを水道、流路、国の活動、HP、広報や施策に活かされますか？	河川整備は市民との協働により実施しています。流域の皆様よりいただきましたご意見は、整備計画や日常の維持管理に反映していきます。
8	玉川上水は今後、産業遺産としての位置づけや、清流の復活(環境用水)、消防用水などへの活用なども検討されているのでしょうか。	[東京都水道局] 玉川上水は文化財保護法に基づく史跡に指定されており、東京都水道局では、平成21年度に策定した「史跡玉川上水整備活用計画」に基づき、玉川上水の保存・活用のための整備を実施しています。
9	砂川という地名の由来は？	「立川市史」によれば、砂川は砂川村を開発した村野家が命名した狭山からの細流のことで、残堀川の旧流路と考えられています。砂川村は、砂川が五日市街道と交差するあたりに立地していたとみられています。玉川上水が引かれた後、砂川用水が通ったことでその沿川に発展した新田集落です。村野家はその後、明治になって砂川家と改名しています。

No.	質問・意見・提案内容	回答
10	恋ヶ窪用水と姿見の池(武蔵野線トンネルからの水を活用)、国分寺(村)用水、砂川用水、野火止用水の関連性はどうか。すべて、玉川上水からの分水なのですか(33ヶ所の中に入るのですか)	姿見の池以外は全て玉川上水の分水です。姿見の池はもともと湧水の池であり、野川の源流の一つでした。玉川上水の分水の流末は皆川につながっており、恋ヶ窪用水の流末は姿見の池でした。
11	玉川上水の素掘りの部分を残しているのは素晴らしいが、大雨の時など土壁部分の崩れがあったり、川底に土がたまったりしないか? 定期的にどんなメンテをしているのか?	[東京都水道局] 東京都水道局では、玉川上水の開渠部について定期的に巡回点検を行うとともに、しゅんせつ作業等を適宜行っています。また、崩落危険性の緊急度が高い法面について、法面保護工事を順次実施する予定です。
12	砂川用水は農業用水・生活用水として、どう地域の歴史と関わってきたのですか。	武蔵野台地上の集落は水が乏しく農業生産も十分にできませんでした。玉川上水が引かれたことにより水が得られ、新田開発が進みました。砂川用水も水路に沿って短冊状の農地開発が行われ、豊かな農村として発展しました。
13	応急給水の設備整備が必要だと思う。地震対策でも自主防災組織をつくるのが要と思う。今日の地域の現状は公助、互助、自助の三原則につきると思います。三つの中で互助部分が希薄になっている居住区域では、自助だけに頼ったり、公助だけに頼ったりしていただければ、大規模災害には太刀打ちできない。	ご意見ありがとうございます。
14	避難場所についてはよく町角に表示されているが、水飲み場についてはどこにあるかは不明である(明確でない)	給水所等の位置は、東京都水道局、川崎市水道局など各自治体や水道局のホームページで公開されています。また、東京都の浄水場・給水所等の給水拠点には右のような看板が設置されています。 
15	「あわてず、急がず、あせらず」の三訓だと思います。よって地震になったら、火を消すことが第一だと思います。自宅は築45年で震度5位で倒れてしまう木造家屋です。今でもすぐにガスの火を消している。初震の場合あわてずにガスの元栓を止めています。可燃の壁材ですので、火災が一番心配です。	[東京消防庁] 地震の際、火の始末は大切なことと認識しています。今回の東日本大震災では、かつて経験したことのない長周期地震動により、新たな課題が指摘されました。このことを受け、東京消防庁では、都民の方々の身の安全を十分に確保していただくことを推進しています。
16	消防水利計画などにイエスですが、用水に水を流して臨時の大規模災害には必要かと思います。しかし、初期消火は大切。	[東京消防庁] 高度に発展した都市においては、消防水利の整備・確保も年々難しくなっていることから、様々な形態において消防水利の整備・確保を行っていくことが重要と認識しています。
17	地震の際は水不足が心配。水流実態解明プロジェクトをぜひ進めてほしい。	ご意見ありがとうございます。水流実態解明プロジェクトでは、多摩川流域における豊かで清らかな水の流れを目指し、未だに実態解明が不十分な点の調査や、水流の改善に関する取り組みなどを継続的に実施していきたいと考えております。そのためには、これからも、流域の市民のみなさまや、河川管理者、流域自治体の方々とともに考え、共通認識を図りながら、水流実態の解明に向け行動していきたいと考えています。
18	それなりに楽しい、有益な会でした。フィールドワークを素材にした論議がなかったのが残念です。	いただきましたご意見は、今後のセミナーに役立てさせていただきたいと思っております。

No.	質問・意見・提案内容	回答
19	内容が厚く、一ヶ所での質疑の時間が少なかった(フィールド)。討議も同様で時間が不足して十分な意見交換ができなかった。	いただきましたご意見は、今後のセミナーに役立てさせていただきたいと思っております。
20	2011の東日本大震災時の利水について、ほとんど報道されていません。東京近辺では東京湾北部、立川断層と今後20～30年以内に起こる地震が想定されます。以外と知らないのが関東大震災の震源地です。首都圏に起こる地震で震源地の穴は相模湾かもしれません。90年近くになります(大正12年初震)大地震に備えて多摩川の役割をみなさん1人1人が考えた方がいいのではないですか。	ご意見ありがとうございます。大震災に備えた多摩川の役割について、今後も流域懇談会にて継続して議論していきたいと考えています。
21	不足部分については、消防水利の整備をぜひお願いしたい。	[東京消防庁] 消防水利の不足する地域は人口密度も高く、いわゆる木造住宅密集地域とも合致していることから、消防機関のみならず、都市整備事業等とも連携しながら、早期に消防水利の整備・確保を進めていきます。
22	「地震だ火を消せ」のスローガンからなぜ「地震だ命を守れ」のスローガンにポスターが変わったのか？NOです。	東日本大震災の揺れでは、東京でも自分の意思で立っていることはできず、また家具の転倒・落下・移動する危険性が見受けられました。このため、揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、まずは身の安全を最優先に行動することとし、地震直後の行動として火の始末や火の元の確認をすることとしましたので、ご理解ください。
23	浄水場の見学をしてみたいです。	ご意見ありがとうございます。現地見学場所として今後検討できればと考えております。
24	井戸について、地下水が劣化しているが普段から使用するように整備できないか。	井戸の利用のためには、地下水の涵養が必要だと考えられます。そのため、各自治体では雨水浸透マス設置を促進する取組などを行っています。
25	震災の場合、ポンプが停止することが予想される、もしもの場合、川の水が流れるようにして、簡易な水処理ができるようになっていけばいいのでは。	ご提案ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。
26	震度7クラスの首都直下型地震の接近が報道されており、玉川上水の水を流域で消防用水として使用されることとなっているようですが、東京都水道局、流域自治体、消防署、市民グループとでそのルールをきめておくと思われ。突然災害が起こった時、混乱しないために。恐らく災害時には水道は使用できないだろう。	[東京消防庁] 玉川上水については、東京消防庁と都水道局との間で、緊急放流に関する協定を締結しています。この協定では、玉川上水へ送水している都下水道局の高度処理水が非常時に停止した場合、都水道局が水道原水を緊急放流することとしています。今後は、こうした取組みについて、防災訓練等の機会を通じて都民に対し周知及び理解を深めていきたいと考えています。
27	水流解明キャラバンを復活してほしい(以前に参加した事がある)	ご意見ありがとうございます。水流実態解明プロジェクトでは、多摩川流域における豊かで清らかな水の流れを目指し、未だに実態解明が不十分な点の調査や、水流の改善に関する取り組みなどを継続的に実施していきたいと考えております。そのためには、これからも、流域の市民のみなさまや、河川管理者、流域自治体の方々とともに考え、共通認識を図りながら、水流実態の解明に向け行動していきたいと考えています。

No.	質問・意見・提案内容	回答
28	<p>姿見の池は地下水の利用という観点から水源が確保されていますが、季節的な変動などの問題があり、恒常的な水源の確保と水害防止などの点から、源流地域の自然林や屋敷林を保全していくことが重要と考えられます。</p>	<p><u>[国分寺市]</u> ご提案ありがとうございます。国分寺市では「国分寺市緑の基本計画2011」において、国分寺崖線の緑や湧水、農地、雑木林、屋敷林などの貴重な緑と水辺を守り、活かし、次世代に引き継いでいくための施策を示しています。今後は、諸状況を勘案しながら、本計画に沿った保全施策を進めてゆきます。</p>
29	<p>これらの活動を広く、多くの方に知らしめるのを考えてみてはいかがでしょうかと思います。各自治体と住民が、梅雨とか震災に強く共感できる内容をオープンでできる情報共有化事象を考えてみてはと思います。</p>	<p>ご提案ありがとうございます。流域懇談会にて参加している自治体を中心に、可能性を議論していきたいと思います。</p>
30	<p>避難や消火活動の際、消防車の通行が難しい場所がある。送水口を大きな建物以外でも設置するようにしたらいかがですか。</p>	<p><u>[東京消防庁]</u> 大規模建築物や一定規模の開発等については、良好な市街地形成の観点から、市町村の条例等において消防水利の設置を義務付けています。消防水利が設置される建築物等においては、送水口の位置についても消防車両が有効に活動できる部分とし、その確保が行われているところです。消防水利という視点からすると、大規模建築物に限らず、様々な種別の消防水利が存在することが望ましいことから、関係機関等へ積極的に働きかけていきたいです。</p>
31	<p>姿見の池は再生したものだと知り、びっくりした。昔の環境を少しでも復活したいと思う。防災のための水利用にも使用できる点もよいと思う。</p>	<p><u>[国分寺市]</u> ご感想をありがとうございます。姿見の池周辺緑地については、良好な水辺環境と周辺緑地との調和による良好な景観形成を踏まえた維持管理を行ってゆきます。</p>
32	<p>上水や池など、貴重な歴史的背景を持っている箇所は少なくありません。関心を持たれている方々の努力で保全されているものもありますが、忘れ去られて廃滅したものも少なくありません。行政としてもPRの手法も含め、後世に伝えていく施策を考えていきたいと感じました。</p>	<p><u>[国分寺市]</u> 庁内関係各課と十分な連携・調整を行いながら、歴史空間や水辺空間等の保全と次世代引継を進めてゆきます。</p>
33	<p>人が生きていく上で一番必要なのは水ではないでしょうか。今回のセミナーのテーマは「利水」。関心高いテーマでしたので参加して多くを学ぶことが出来ました。地域応急給水施設の件で確認しなくてはと思った次第です。本日はありがとうございました。</p>	<p>ご感想をありがとうございます。</p>
34	<p>恋ヶ窪用水、小平監視所が私が30年余り東京都内で生活していて、環境整備、管理されているのを見て感心した。また、玉川上水の歴史が少し知ることができました。</p>	<p>ご感想をありがとうございます。</p>
35	<p>野川の源流については、NHKのプラタモリで放送されたばかりで興味深かった。姿見の池が見られてよかった(知らなかったもので...)用水の復活、維持には大変な労力があり、何気なく見ていたものが大変なものであると思った。 ・水は環境に大切なものであるという認識であったが、今回の地震で水が出なくて不自由になって(茨城で)あらためて水の重要性を感じた。</p>	<p>ご感想をありがとうございます。</p>
36	<p>小平監視所の役割が分かりました。ご案内・説明をありがとうございました。</p>	<p>ご感想をありがとうございます。</p>

No.	質問・意見・提案内容	回答
37	通常では受けられない説明を専門家から聞く事ができ良かった。次回も出席したいと思います。	ご感想をありがとうございます。
38	自助、共助、公助を学べた。	ご感想をありがとうございます。
39	堅苦しい見学会、ディスカッションかと思いましたが、スタッフはじめ、参加されている人がすごく関心が高く、そして細かい気配りがあり、有意義な会でした。有り難うございました。	ご感想をありがとうございます。
40	本日参加して色々今まで知らなかった事も分かり、大変勉強になりました。参加して良かったと思いました。関係局の皆様方御苦勞様でございました。	ご感想をありがとうございます。
41	玉川上水の水が再生水だったことを知らなかった。水を大事に使っていきたい。	ご感想をありがとうございます。
42	今般はお世話になりました。	ご感想をありがとうございます。